



**【事務局】**

会議終了後に疑問点等が生じた場合は、質問票をメールで送信していただき、次回までに回答を用意する。本日は、使用しない。

**【委員長】**

市民アンケートの差異とはどのようなものか。

**【事務局】**

満足度と期待値の順位の差である。

**【委員長】**

差異順位とはどのようなものか。

**【委員長】**

満足度と期待値の順位の差が開いているものが順位が低くなっている。参考として見ていただきたい。

**【委員】**

狛江の活性化に寄与すると思われる施策を選んだ。その中で古墳という資源を活用して活性化するのではないかと考えた。

**【委員長】**

指標について、アウトカム指標が必要と思われるが、資料以外の指標はあるか。

**【事務局】**

本年、実施した市民アンケートにおいて「あなたは、狛江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きしたりしたことがありますか。」という問いに対して「ある」という回答が 20.2 パーセント、「どちらかといえばある」という回答が 37.2 パーセントという結果になった。

**【委員長】**

指標の推移はどのようにになっているか。

**【事務局】**

当初値が 51.5 パーセント、昨年度が 58.3 パーセント、本年度が 57.4 パーセントとなっている。当初の目標値は、57 パーセントであるため、本年度も目標値は超えている。

**【委員長】**

学校での出前講座を実施したことにより、文化財を訪れる人が増えた等の成果指標をなるべく取り入れるようにしていただきたい。

**【委員】**

学校への出前講座は全校で行っているのか。

**【事務局】**

6年生への出前講座は全校で、古民家園への見学は2校で実施している。

**【委員】**

新型コロナウイルス感染症による影響はあるか。

**【事務局】**

新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした事業がある。

**【委員】**

添付資料にあるような素晴らしい資料があることは知らなかった。

粕江の魅力を発信するためには白井塚古墳等の資源を利用することも重要であり、市外に発信することも考えられるのではないか。

また、万葉歌碑が分かりづらい場所にあるため移設をしておいた方がか。

**【委員】**

市として古墳をアピールしていくのであれば、QRコードを設置し、歴史的背景が見れるような工夫をしてもよろしいのではないか。

**【委員長】**

観光資源として案内方法を工夫することもできるのではないか。

**【委員】**

委員には、実際に現場を見てももらうことも必要だと考える。

白井塚古墳は整備されているのか。

**【事務局】**

公園整備に向けた試掘調査で出土されたものの保存方法を検討中であり、まだ整備はされていない。出土品の現地見学会では、約450人が訪れた。

今後、出土品が見える形での整備ができないか、検討を進めていく。

**【委員長】**

散策マップはどのように周知されているか。

**【事務局】**

窓口での配布やホームページで公開している。

**【委員】**

資源が点在しているため、全体的なアプローチが望ましい。

古墳の希少性に関する評価も必要であると考ええる。

**【委員長】**

粕江では、古墳等の市民団体等はないか。

市民団体等があれば市内の古墳を案内する等の取組ができるのではないか。

SNSでの発信も注目される手法として考えられる。

**【委員】**

古墳カードの配布対象はどなたか。

**【事務局】**

次回までに確認をする。

**【委員長】**

出前講座では、関心の無い人はそこで終わってしまうが、出向いてもらえるという点では、カードの活用は良い。

**【委員】**

狛江として「音楽のまち」というフレーズをよく耳にするが、このように「古墳のまち」としてシティセールスをすることも考えられる。

**【委員】**

施策の目標の一つとして愛着や誇りを持てるという部分があり、小学生等には、郷土愛の素地は育っていると思うが、その後や大人向けに対する取組に対する指標や施策が必要かと思われる。

川越市では、40年かけて郷土愛を持てるようなまちづくりを実施しており、狛江でも例えば古墳を資源とするならば今後の計画として位置付けることも必要ではないかと考える。

**【委員長】**

松本市でも蔵を買い戻してまちづくりを進めるといった取組を行っている。  
狛江高校はどのような取組を行っているか。

**【事務局】**

箏曲部に古民家園で演奏していただくといった取組を実施している。

**【委員】**

小学校や市民まつりでも箏曲部は演奏している。

**【委員】**

音楽の日、絵手紙の日、古墳の日といった年間スケジュールでイベント設定することも可能ではないかと考える。

**【委員】**

絵手紙はどこが所管しているのか。

**【事務局】**

市地域活性課だが、文化振興事業団に業務として展開していただいている。

**【委員】**

寺社めぐりのルートの中に古墳を入れるといった切り口も考えられる。

古墳だけでなく、他の資源と一緒に巡るといった活用方法もある。

整備状況等からしても古墳だけを巡るといった活用は難しいと思われる。

#### 4 その他

追加の質問がある場合は、質問票を7月11日（月）までに提出いただきたい。  
次の開催日は令和4年7月21日（木）とする。